

## 東海地区協会（名古屋大学）

### 1．国立大学関係（8館）

#### （1）東海地区国立大学附属図書館長懇談会

平成19年10月31日（水）名古屋大学附属図書館において開催され、国立大学の図書館組織のあり方、電子ジャーナル導入経費確保の方策や雑誌高騰化に対する各大学の対策等について広く意見交換を行った。

#### （2）東海地区国立大学図書館協会事務連絡会

平成19年12月4日（火）名古屋大学附属図書館において開催され、国立七大学図書館協議会、国公立大学図書館協力委員会、国立大学図書館協会理事会等の報告及び東海地区大学図書館協議会、東海地区図書館協議会の活動等についての報告が行われた。

また、電子的リソース利用のための環境整備などについて協議した。

#### （3）東海地区国立大学図書館協会総会

平成20年4月21日（月）豊橋技術科学大学附属図書館を当番館として開催され、地区協会の会長館の選出に続いて、第55回国立大学図書館協会総会に向けた準備事項、及び電子ジャーナルの持続的利用を目指した学術情報流通改革、学生に対する大学図書館の学習・教育支援の強化等について協議した。

#### （4）学術機関リポジトリ実務担当者会議

平成19年10月23日（火）名古屋大学附属図書館にて「コンテンツ収集に向けて」と題して開催され、著作権処理の実務や教員業績データベースとの連携などについて情報を共有した。また各大学の学術機関リポジトリ構築の取り組みについて報告、協議した。

#### （5）平成19年度国立大学図書館協会地区助成事業「東海地区デジタルレファレンス・フォーラム」

平成20年3月7日（金）名古屋大学野依記念学术交流館にて開催され、「Webパスファインダーを活用した健康支援と図書館連携」(愛知医科大学医学情報センター・市川美智子氏)と「レファレンス事例集データベースの構築と利用」(国立国会図書館関西館・鈴木智之氏)の講演、及び「パスファインダーの事例紹介・活用について」と「メールレファレンスの現状と課題」の2つのテーマによるワークショップが行われ、国公立大学図書館や公共図書館の図書館員等100名が参加し、新しいレファレンスサービスのあり方について議論した。

### 2．国公立大学関係（87館）

#### （1）東海地区大学図書館協議会第61回総会・研究集会

平成19年8月1日（水）愛知県立大学学術文化交流センターにおいて開催され、午前中は平成18年度事業報告、決算報告、平成19年度事業計画案、予算案等についての協議、国公立大学図書館の活動状況の報告及び永年勤続者の表

彰が行われた。

午後は、下記の研究集会が開催された。

テーマ：「芸術とヨーロッパの図書館 過去と現在」

基調講演：「ルネサンス期の図書館とパトロネージ」

(愛知県立芸術大学附属図書館長 森田 義之氏)

講演：「新大英図書館：音楽書と稀覯本読書室」

(愛知県立芸術大学音楽学部 中巻 寛子氏)

## (2) 研修会

### 第1回

東海地区大学図書館協議会として初めて「図書館職員基礎研修」を開催した。

日時：平成19年11月28日(水)

場所：名古屋大学附属図書館

参加者：42機関 60人

講義：「大学図書館職員に求められているもの」

(お茶の水女子大学参与 雨森 弘行氏)

「資料の収集～目録・分類」

(三重大学附属図書館 河谷 宗徳氏)

「電子情報(電子ジャーナル、データベース等)」

(名古屋大学附属図書館 栗野 容子氏)

「図書館情報リテラシー教育」

(南山大学図書館 紅露 剛氏)

「ILL」

(名古屋市立大学総合情報センター北千種分館 万波 涼子氏)

「大学図書館の最近の動向・海外事情」

(中部大学附属三浦記念図書館 松林正己氏)

### 第2回

日時：平成20年3月5日(水)

場所：中部大学 リサーチセンター

参加者：47機関 77人(内、公共図書館2館2人)

テーマ：「魅力ある大学図書館をめざして」

講演：「どこから拓く?大学図書館の可能性 学習支援の視点から」

(同志社大学総合情報センター 井上 真琴氏)

講演：「ここから拓いた - お茶大図書館活性化のための5つの作戦」

(お茶の水女子大学附属図書館 茂出木 理子氏)

## 3. 公共図書館との連携

### (1) 東海地区図書館協議会

東海地区4県の公共図書館と大学図書館との連携・協力事業の一環として、84館の参加による資料相互利用、及びレファレンス便覧の提供による共同事業を実施している(平成20年2月26日現在)